

令和	7	年度	年間授業計画			教科	数学	科目	数学Ⅲ			
教科：	数学		科 目：	数学Ⅲ		単位数：	4	単位				
対象学年組：第 3 学年												
教科担当者：	金クラス担当	小松	金クラス担当	澤	金クラス担当	米倉	金クラス担当	鈴木	金クラス担当	内田	金クラス担当	鮫島
使用教科書：	教科書：数学Ⅲ（数研出版） 副教材：教科書傍用 サクシード 数学Ⅲ（数研出版）、チャート式 基礎からの 数学Ⅲ（数研出版）、リンク数学演習Ⅲ・C〔複素数平面、式と曲線〕受験編											

教科	数学	の目標：
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数式的に解釈したり、数式的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を論理的・統合的・発展的に考察する力、数式的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数式的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

科目	数学Ⅲ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数式的に解釈したり、数式的に表現・処理したりする科学技術者として必要な技能を身に付けるようにする。	数式や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数式的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数式的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする科学技術者として必要な力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数式的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする科学技術者として必要な態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 1 第1章 関数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	分数関数・無理関数の値の変化やグラフの特徴を理解させる。合成関数・逆関数の意味を理解させる。	分数関数、無理関数、逆関数と合成関数	分数関数・無理関数の値の変化やグラフの特徴を理解している。合成関数・逆関数の意味を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	既に学習した関数の性質と関連付けて、分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察させる。	教科書等	既に学習した関数の性質と関連付けて、分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収するようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	単元 2 第2章 極限	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	数列の極限、無限級数の収束・発散について理解させる。関数の値の極限について理解させる。	数列の極限、無限等比数列、無限級数、関数の極限、三角関数と極限、関数の連続性	数列の極限、無限級数の収束・発散について理解している。関数の値の極限について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	15
	式を多面的に捉えたり適切に変形したりして、数列や関数の極限を求める方法を考察させる。	教科書等	式を多面的に捉えたり適切に変形したりして、数列や関数の極限を求める方法を考察することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収するようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説			○	○		2
	単元 3 第3章 微分法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	導関数について理解させる。導関数の性質を理解し、種々の導関数の求め方を理解させる。	微分係数と導関数、導関数の計算、いろいろな関数の導関数、第n次導関数、関数のいろいろな表し方と導関数	導関数について理解している。導関数の性質を理解し、種々の導関数を求めることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	14
	導関数の定義に基づき、種々の導関数を考察させる。関数の連続性と微分可能性について考察させる。	教科書等	導関数の定義に基づき、種々の導関数を考察する。関数の連続性と微分可能性について考察することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収するようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	単元 4 第4章 微分法の応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	導関数を用いた曲線の接線の方程式の求め方や関数の値の増減、グラフの凹凸の調べ方を理解させる。	接線と法線、平均値の定理、関数の値の変化、関数の最大と最小、関数のグラフ、方程式・不等式への応用、速度と加速度、近似式	導関数を用いて曲線の接線の方程式を求めたり、関数の値の増減、グラフの凹凸の調べたりすることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	18
	関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察させる。	教科書等	関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収するようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説			○	○		2

令和 7 年度 年間授業計画 教科 数学 科目 数学Ⅲ
教科 : 数学 科目 : 数学Ⅲ 単位数 : 4 単位

対象学年組 : 第 3 学年

教科担当者 :	金クラス 小松	金クラス 澤	金クラス 米倉	金クラス 鈴木	金クラス 内田	金クラス 鮫島
使用教科書 :	教科書 : 数学Ⅲ (数研出版) 副教材 : 教科書傍用 サクシード 数学Ⅲ (数研出版)、チャート式 基礎からの 数学Ⅲ (数研出版)、リンク数学演習Ⅲ・C [複素数平面、式と曲線] 受験編					

教科 数学 の目標 :

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする科学技術者として必要な技能を身に付けるようにする。	数値や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力。いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする科学技術者として必要力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする科学技術者として必要な態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元 5 第5章 積分法	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	不定積分及び定積分を理解させる。不定積分・定積分の性質を理解し、不定積分・定積分の求め方を理解させる。	不定積分とその基本性質、置換積分法、部分積分法、いろいろな関数の不定積分、定積分とその基本性質、定積分の置換積分法、定積分の部分積分法	不定積分及び定積分を理解している。不定積分・定積分の性質を理解し、不定積分・定積分を求めることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	18
	関数の式を多面的にみたり適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察させる。	教科書等	関数の式を多面的にみたり適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収できるようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	単元 6 第6章 積分法の応用	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	定積分を利用した面積や体積、曲線の長さなどの求め方を理解させる。	面積、体積、曲線の長さ、速度と道のり	定積分を利用して、面積や体積、曲線の長さなどを求めることができる。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	14
	極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察させる。	教科書等	極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収できるようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説			○	○		2
	単元 7 総合演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	総合的な知識・技能を身に付けるようにする。	総合演習	総合的な知識・技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	25
	総合的な思考力・判断力・表現力を身に付けるようにする。	教科書等	総合的な思考力・判断力・表現力を身に付けている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収できるようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	単元 総合演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説			○	○		2

令和7年度年間授業計画教科数学科目数学Ⅲ

教科：数学科目：数学Ⅲ単位数：4単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：	全クラス担当	小松	全クラス担当	澤	全クラス担当	米倉	全クラス担当	鈴木	全クラス担当	内田	全クラス担当	鮫島
使用教科書：	教科書：数学Ⅲ（数研出版） 副教材：教科書傍用　サクシード　数学Ⅲ（数研出版）、チャート式　基礎からの　数学Ⅲ（数研出版）、リンク数学演習Ⅲ・C〔複素数平面、式と曲線〕受験編											

教科	数学	の目標：
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

科目	数学Ⅲ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする科学技術者として必要な技能を身に付けるようにする。	数値や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力。いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする科学技術者として必要力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする科学技術者として必要な態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単元7総合演習	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	総合的な知識・技能を身に付けるようにする。	総合演習	総合的な知識・技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	20
	総合的な思考力・判断力・表現力を身に付けるようにする。	教科書等	総合的な思考力・判断力・表現力を身に付けている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収するようにする。	解説、課題の提示・提出	課題に対して、自主的・積極的に取り組み、新しい考えを吸収しようとしている。				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						